

2020 年度歴史地震研究会 第 6 回幹事会議事録

場所:Web 会議

日時:2021 年 6 月 18 日(金) 17:00~19:00

出席者:松浦(会長), 堀川(副会長), 諸井(財政), 西村(行事), 加納(広報), 行谷(編集出版), 植竹(監査), 中村(監査), 大邑(総務)書記

1. 入退会者の承認及び 2020 年度会費の受取状況 (財政)

【資料 1】入退会者の承認及び 2020 年度会費の受取状況

- ✓ 入会者 6 名, 2020 年度末退会者 0 名, 2020 年度末休会者 1 名, 2020 年度会員特典復活 1 名, 登録内容変更 2 名 →入会者を承認
- ✓ 現段階での会員数 274 名
- ✓ 2020 年度会費受取状況 256 名 (会員 274 名のうちの 93%が支払い済み)
- ✓ 未納者 18 名 (苫小牧大会発表者は全員納入済) 2021 年度会費納入済 9 名
- ✓ 2019 年度未納者 10 名 (現在特典停止中・このままだと除名処分になるので別途督促を行う)
- ✓ 7 月初頭に今年度会費の最終督促を実施し納入期限を 7 月 16 日(金)とする
- ✓ 督促状には期限を過ぎた場合 36 号の送付は会員負担になる旨を加える

2. 2021 年苫小牧大会について (行事)

【資料 2】2021 年苫小牧大会準備状況

- ✓ 5 月 18 日にオンライン会議を実施して以下を決定
 - ・学会がオンライン開催の場合も公開講演会は実施したい
 - ・苫小牧市が共催となり受付の手伝いや参加者リストの管理(感染症対応)を行う
 - ・苫小牧市から学会参加者へのアンケート協力の打診がありこれを承諾
 - ・苫小牧市の広報で宣伝を行う
- ✓ 共催について苫小牧市は公開講演会を共催, 厚真町・厚真町教育委員会は大会全体を共催の予定
- ✓ 公開講演会の表題は「北海道胆振東部地震から 3 年～歴史と地層から古地震をさぐる～」で決定
- ✓ 講演者は感染症対応として道内の演者で構成し地元紙などで宣伝を行う
 - 会員には規約上謝金・交通費が出せないが公開講演会のみになった場合には支払う方針とする
- ✓ 巡検について道路状況を確認し見学場所への立ち入り許可を申請済
- ✓ バスの見積もり, 仕出し弁当, 傷害保険, レンタカー, 巡検資料代などを検討し 30 名で参加費 5000 円を予定
- ✓ 研究発表会については 5 月 31 日に締切り, 43 件の申し込み(内ポスター希望 9 件)があった
- ✓ 口頭発表 34 件, ポスター 9 件でプログラムを作成した
- ✓ 全体周知は 6 月下旬に HP, ML, musha, 地震学会 NL で行う

〈議論・決定事項〉

- ✓ 研究会がオンラインになった場合, 公開講演会との調整でプログラム構成に工夫が必要
- ✓ 講演会のオンライン配信は LIVE(ハイブリッド)ではなく録画でも良いのではないかと(LIVE の場合施設等のネット回線の状況に影響される)
- ✓ 公開講演会名の地震名に「北海道」を入れることとする
- ✓ 開催方法の判断は状況を見て 7 月 20 日に行い会員に速やかに通知することとする

(オンライン開催となり発表を辞退する会員は要旨を提出する必要がない)

→第2報には20日に判断する旨を記載する

- ✓ 予稿集の印刷については前田印刷に確認する(オンラインの場合は印刷不要)
- ✓ 密集を避ける意味でもバスは大きめのものを用意することとし、参加申し込みが多かった場合は再検討する

3. 「歴史地震」の編集について(編集出版)

【資料3】『歴史地震』の編集について

- ✓ 第36号の編集作業はほぼ完了し最終確認中
- ✓ 論説11, 資料5, 報告2, 要旨33, 総ページ数295
- ✓ 今後の予定について説明し送付先リストの用意などを確認
- ✓ 同封の挨拶文にメールアドレス等を研究会に知らせてほしい旨を記載することを決定(現況確認)
- ✓ 前回決定した発行部数(430部), 著者贈呈用の扱い, 会費未納者への送付方法について確認

4. 広報活動について(広報)

【資料4】(広報活動について)

- ✓ 前回からの作業について説明
- ✓ 苫小牧大会申し込みフォームについて説明
→テキストメールではGoogleフォームから送られてくる控えメールの体裁が崩れるのでスクリーンショットを保存してほしい旨記載する
- ✓ 第2報について準備している旨報告
- ✓ 現況確認の方法についてはメールと共に会誌に同封の挨拶文で会員に周知することを確認

5. その他

- ✓ 会長および幹事(委員)の交代について相談
- ✓ 2022年高槻大会の案について代理で総務が説明
→苫小牧大会がオンライン開催になった場合でも2022年は高槻で開催する方針を決定
- ✓ 前回決定した会則に会費の納入期限を明記する件について検討
→逆効果になることや期限後に納入した場合の対応などを決定する必要があるため具体的な期限の明記は見送ることを決定(会則の変更はしない)

○次回幹事会は7月開催の予定 (Web開催)

以上